

ひかり

2019年12月号



日本聖公会 三光教会

第684号

〒142-0064 東京都品川区旗の台 6-22-24

Christmas

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nssk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

だからあなたがたも用意していないさ。人の
子は思いがけない時に来るからである。

(マタイによる福音書 24:37-44)

創立 救主降誕 1912年(大正元年)11月2日

「木」Ⅱ

司祭 ヨナ成 成鍾

前回は木について学問的なことをいろいろ書きましたけれどもそんなに膨大な意味に沿って我が子を「ナム」と言い始めたのではありません。ただ、象徴的に木が

天と地を繋ぐように神様と世界、また、人と人の間を繋いで生きればいいな、という夢の大きい親の願いがこもっているのです。そういった意味に準じて、本名も繋ぐという意味を持つている「隣(リン)」という単語を用いて「成隣」と名付け、また洗礼名は、人間を超えて何の隔たりもないキリスト者の生き方を示された聖フランシスの名前を借りて付けました。

もちろん生き方は、親ではなく彼自身が選びます。ところが、生き方による人生の実りというのは、本人の生き方が根を下ろしている根本にかかわる部分でもあります。“良い木は良い実を結び、悪い木は悪い実を結ぶ”(マタイ7:17)からです。それなら良い実を結ぶ良い木は、どのような木なのでしょう。言うまでもなく、善い地

に種がまかれ根を下ろした木なのです。

韓国語で奥さんのことを「内の太陽」という意味で「アネ」と言いますが、アネと私はフランシス・成隣という名前を持つている「ナム」が神様という根本にちゃんと根を下ろし、善い実を結べる木になることを願っています。

キリストは木です。これからお生まれになるキリストは、神様という宇宙の中心に根を下ろし、そのただ中に立つている命の木なのです。キリストは、神様と人間の間を繋ぐために立てられた十字架に掛けられ、ご自身の全てを神様に帰依(サンスクリット語で「南無(ナム)」という意味)し、救いという良い実を結びました。そういった意味で、世の中で一番美しい木なのです。キリスト者と同じです。キリスト者一人ひとり、神様と人々を繋いで世界中のあらゆる隔たりをなくすためにこの世に送られた尊い木なのです。それゆえ、キリストに倣って神様に自分を帰依し、自分なき自分として生きていく時、私たちそれぞれは世界軸としての尊さを取り戻せるのです。私たちは、ナム・キリストです。

12月・2月の予定

5日(水)	4日(火)	3日(月)	2日(日)	◆2月	28日(火)	27日(月)	26日(日)	25日(土)	22日(水)	21日(火)	20日(月)	19日(日)	17日(金)	14日(火)	13日(月)	12日(日)	7日(火)	6日(月)	5日(日)	1日(水)	◆1月	29日(日)	28日(土)	27日(金)	26日(木)	25日(水)	◆12月
日本の殉教者	聖書に学ぶ会(新約)	2月逝去者記念礼拝(聖餐式)	被献日	ヨロツパの殉教者	司祭会博士トマス・アクリナス 聖書に学ぶ会・黙想会	主教会博士ヨハネ・クリンストム	顕現後第3主日	使徒聖パウロ回心日	殉教者執事ビンセント	聖書に学ぶ会(新約)	殉教者おとめアグネス	顕現後第2主日	修院長アントニオ 黙想会	聖書に学ぶ会・黙想会	主教会ヒラリー	洗礼の日	顕現後第1主日・主イエス	1月逝去者記念礼拝(聖餐式)	聖書に学ぶ会(新約)	降誕後第2主日	主イエス命名の日	降誕後第1主日	聖なる幼子の日	福音記者使徒聖ヨハネ日	最初の殉教者ステパノ日	降誕日	降誕日

男子会だより

11月

11月4日(祝)午後3時から男子会主催で、成司祭、荻原聖職候補生の歓迎バーベキュー会を行いました。男子会以外からも多数参加してくださり、18名で秋の夕べを楽しみました。

12月14日(土)夕の礼拝の後、男子会恒例の年次総会と忘年会を行ないます。会場は焼き肉店コラボ旗の台店です。(記・伊藤和彦)

■教会と私

「主に支えられて」

吉村 輝夫

主のご降誕をお祝い申し上げます。

私は四、五歳の頃、日曜日には教会の幼稚科と称する処に通っていました。祖父は牧師であり、父母も明治の生まれでしたが、それぞれ受洗していました。

小学三年生からの四年間は、第

二次世界大戦中で敵国の宗教とされたキリスト教は、口にするのも御法度の時代でした。

終戦の翌年、中学二年の時、戦災で半ば焼け残った三階建ての映画館で数百人を集めた賀川豊彦氏の講演を独りで聴いたことがありましたが、終つて暫くは感動で茫然としたことを思い出します。

中三の頃に読んだH・G・ウェルズの『世界文化史大系』では、仏教は詰まる所、「人に慈悲、自己は無我」の人間釈迦の教えであり、キリスト教は「人に愛、自己は犠牲」とのイエス・キリストの教えであり、両者は相似しますが、相違点は、イエスは神の子であり、父なる神は天地を創造された宇宙の主であるということでした。

高校生になって、級友二人から「教会へ行ってみないか？」との誘いを受け、大学受験が近づくまで暫く通った日本キリスト教団の教会での牧師さんの力強い説教は、毎回名映画を鑑賞した時の様な感動を呼びました。

青年時代、鈴木大拙著『禅と日本文化』を読み、禅哲学にも強く魅せられて、福井の永平寺や鎌倉

の円覚寺等で座禅会への参加を試みたりもしました。それはそれで意義深いものがありました。若男女を問わず万人が近付き易いという点ではキリスト教に分があると思ひました。

学生時代に読んだエミール・ブルンナー博士が著書『吾らの信仰』の中で「神は世界の中に存在するのではなく、世界が神の中に在り、人間が他のすべての被造物と異なる点は、人間だけが神の思想に与^{あづか}れるということ。これが他の動物にもある単なる性格とは違う理性であり、これによって、永遠なるもの、また無限なるものに思いを致すことができる」と云っているのになづくのでありました。

私は、三十歳の時、主のご恩寵の中、後に東北教区主教になられた今井正道師により洗礼を施していただきました。

教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時から1時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

はじめて教会にいらした方へ

礼拝様式に馴れない方は椅子にお掛けになったままで結構です。
●礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。
●わからない点は隣の席の者か案内係にお聞きください。

礼拝のご案内

■主日礼拝

午前 7:00 早祷・嘆願
午前 7:30 聖餐式
午前 9:00 ステパノ会
(日曜学校)礼拝
午前 10:30 聖餐式
午後 4:00 夕の礼拝

■平日礼拝

月曜日から土曜日までは、毎朝 6:30 の早祷に引き続いて聖餐式